

ディスコグラフィアー掲載

ディスコグラフィアー 【2024No.199】 (HP 掲載)

分類：アナログ

作曲家：ベートーヴェン

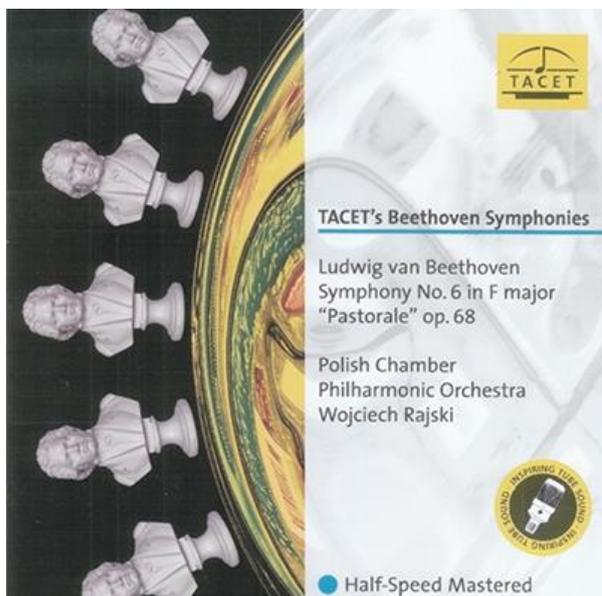
曲名：交響曲 6 番

演奏：Wojciech Rajski(ヴォイチェフ・ライスキ)指揮ポーランド室内フィルハーモニー
管弦楽団:

発売：TACET

No. : TACET 241

概要：



【演奏】

Wojciech Rajski(ヴォイチェフ・ライスキ)指揮ポーランド室内フィルハーモニー管弦楽団:

【収録】 Symphony No. 6 in F major "Pastorale" op. 68

Side1

1. Angenehme und heitere Empfindungen, welche bei der Ankunft auf dem Lande im Menschen erwachen. Allegro ma non troppo
2. Szene am Bach. Andante molto moto

Side2

3. Lustiges Zusammensein der Landleute. Allegro
4. Donner. Sturm. Allegro

5. Hirtengesang. Wohltätige, mit Dank an die Gottheit verbundene Gefühle nach dem Sturm. Allegretto

大阪ハイエンドオーディオショウ 2024 に行って求めてきたものです。

感動的なチューブサウンド、ハーフスピードマスターリングとの記載があり、チューブサウンドは真空管マイクのノイマン U47 が使用されていること、ハーフスピードマスターリングは、マスターリングがハーフスピードで行われていることを指しています。

2008 年ポーランドの教会での録音、フランクフルトでのカットティングで、2017 年発売です。

今回は、LP-12 のフォノケーブルのバランス化とレコードアンチスタティックの適用に加えて、Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用してみます。

TACET レーベルは、ZANDEN のリストにありませんが、最近の録音ですので、RIAA、N、第 4 時定数 High の条件から聴き始めましたところ、違和感はありません。

音質は、ハーフスピードマスターリングの効果で、解像度もよくクリアーな音質です。恐らくはデジタル録音でしょうが、真空管マイクのため、そういった印象はありません。演奏は、緻密な構成で、音の協和と分離もよく、田園の長閑な風景から嵐の描写まで、手に取るようにその時々的情景が分かりやすい演奏です。

以上